

しばふ らんらんらん♪

2号



全身を使って、転がったり、
跳んだり、走ったりして遊ん
でいるよ。



はだし気持ちいいな。



絵の具ペタペタいい気持ち。



ピタンピタン!音がするよ。



芝生がグッと伸びるようになり、週1回の芝刈りが始まりました。刈りたての芝生はふんわり草の香りがして気持ち良く、幼児たちは、はだしになったり、寝転がったりしながら全身で心地良さを味わっています。3歳児の中には、はだしになることを嫌がる幼児もいますが、お兄さん、お姉さんやお友達の笑顔につられて「はだしで行こう。だって気持ちいいもん」と喜んで戸外に出掛けるようになっています。はだしになることで一つチャレンジに成功した幼児は、砂場、絵の具などにもまた自分の肌で直接触れてみることに抵抗が少なくなるようです。五感を総動員して思い切り遊ぶ中で、いろいろな感触を味わうことができます。

また、傘をさしての芝生探検では、ピチャピチャと跳ねる水しぶきや、足踏みするといつもと違う音がすることに気がきました。雨降りの園庭も幼児たちにとっては、五感を通して遊んだり、発見の場となったりしています。

感覚を刺激し、脳を活性化させることは、手指の発達を促し、更なるチャレンジへの支えとなるでしょう。